



# 特集

新しく生まれ変わった玄々堂君津病院

## 高度な技術と最新設備で

### 地域医療に貢献

今回は、4ページにわたり特集で企画しています。  
紹介する部署は次のとおりです。

手術室	臨床検査室	外来診療
薬剤部	栄養科	棟医事課
超音波室	医療相談室	電算室
放射線科	透析室	

### 手術室

清潔動線確保と最新の設備で高度医療に対応



この度の病院増改築により、新館二階エリアには中央材料室と手術室が新設され、一月四日にオープンしました。

一刻一刻と変わりつつある高度医療に対応できるよう新手術室が生まれ変わり、より清潔で安全に快適な環境のもと手術が行われています。手術室は三室に拡張され、局部麻酔の外来手術から、全身麻酔の手術まで幅広く対応出来るよう設計されています。又患者さん出入り口と職員出入り口のルートが分離されました。患者さんが入室する際はのりかえホールにて分離型手術台に移動していただきます。清潔区域をより清潔に保つように、動線の確保をしています。

手術室内の設備については、医療ガスの取り入れ口が床上のコードの交叉を避けるため天井からの配管となり、機械・薬品棚や、シヤウカステン・書類ケース、オペタイムー、情報パネル、殺菌灯が壁に埋め込みされ、使用効率のよい設計となっています。安全な設備環境のもとで、安全に効率のよい手術が行えるよう心がけています。中央材料室はワンフロアに凝集されジェット機械洗浄器・カテーテル洗浄乾燥機など設置され洗浄乾燥工程が機械化されました。高圧蒸気滅菌装置やEOG滅菌装置も最新式の機種が設置され、業務の効率化が図られた環境となります。



した。清潔不潔の動線が確保され、より効率的に日々の業務をがんばっています。

患者さんに来局して頂ける場所にあります。しかし、X線を利用した検査は、臨床医学では疾患の診断・治療・経過観察に現在欠くことのできない方法であります。当院の放射線科にはX線CT・X線透視TV・血管連続撮影装置・乳房撮影装置・断層撮影装置・乳房撮影装置・断層撮影装置・一般撮影装置二台・移動型X線撮影装置二台・外科用イメージ移動型透視装置)が設置されています。これら

### 放射線科

情報提供と患者サービスを高度な知識に基づいた

我が放射線科は、診療放射線技師六名、学生一名から構成される男所帯の部署です。今回の改修工事では、その所在がわかりづらかった旧受付を待合室側へと移設いたしました。これにより拡張されたスペースを有効利用し業務を効率化でき、患者さん方も受付の所在が明確になつたことだと思います。



と皆さんは何を連想しますか。おそらく多くの方はそこで得られる利益よりも、まず身体への被曝による影響等の不安や心配が先行してしまうことでしょう。しかしこのX線を利用した検査は、臨床医学では疾患の診断・治療・経過観察に現在欠くことのできない方法であります。当院の放射線科にはX線CT・X線透視TV・血管連続撮影装置・乳房撮影装置・断層撮影装置・一般撮影装置二台・移動型X線撮影装置二台・外科用イメージ移動型透視装置)が設置されています。これら

の装置を操作する我々技師も、高度な知識に基づいた技術が要求されています。そして少しでも多くの画像情報を医師へ提供できる様に、又患者さんは思いやりを意識し、患者サービスの向上を心がけています。

### 臨床検査室

業務がより能率アップに

検査室は、今回の改築により、奥の第14診察室の隣に移動しました。内部に心電図室、聴力検査室があり、眼底・脳波検査は、内視鏡室の隣になりました。以前と比較して、コンパクトになりましたが、検査室のアイデアにより効率的な業務が行えるようになります。又、新たに騒音を遮断する聴力検査室ができ、検査室も入口が二ヶ所になって、出入りがスムーズになりました。受信専用のファックスの増設により至急検査が早く報告でき、採尿室では車椅子の方の介助が容易になりました。

スタッフ一同、働きやすい職場に変わり、よりよい医療を目指して努力していきたいと思っています。

### 薬剤部

クリーンベンチ導入で業務拡大



クリーンベンチで注射薬の混合

以前、三階にあった薬局は新館の二階と地下に移り、業務の方も変革期を迎えております。

調剤業務では、全自动錠剤分包機・自動袋プリンターを導入しました。処方された薬が、患者さんにとって飲みやすいように、又、間違えないで確実に服用して頂く為に、一回量を一つ

にしており、入院している患者さん

のパッケージに包装する装置であります。今まで手作業で行っていましたので、時間がだいぶ短縮されました。当

然、薬局では、薬剤管理業務の他に、本年六月より無菌室にて混注業務(注射薬の混合)を行っております。クリーンベンチの中では慣れない無菌操作に気を使いますが、配合変化等を実際に見ることが出来る為大変勉強になります。

これまで薬剤管理指導業務を実施しており、入院している患者さん

は、奥まった路地のような所で、受付窓もなく、重く分厚い扉(防火扉)をノックで開けたりしてお掛けしておりました。奥まった路地のような所で、受付窓もなく、重く分厚い扉(防火扉)をノックで開けたりしてお掛けしておりました。

長い間、患者さんに慣れ親しんでいたいたい旧超音波室は、奥まった路地のような所で、受付窓もなく、重く分厚い扉(防火扉)をノックで開けたりしてお掛けしておりました。

長い間、患者さんに慣れ親

しんでいたいたい旧超音波室は、奥まった路地のような所で、受付窓もなく、重く分厚い扉(防火扉)をノックで開けたりしてお掛けしておりました。

長い間、患者さんに慣れ親</p





ゆったりとした待合室

## 外来診療

スムーズな外来診療を

新しい診察室の増設により患者さんへの待ち時間の短縮と、診察室内はプライバシーに配慮しての工夫や心にゆとりを与える為に「音楽」を流し周囲の環境

が受けられる玄々  
た病院として更  
に患者サービス  
向上に向けてスッ  
ツフ一丸となつて  
努力し前進して行  
く所存です。

## 効率よい医療と高サービスをめざす

### ■専門外来診療一覧表

月	火	水	木	金	土
午 前		整形外科	呼吸器科	整形外科	糖尿病・甲状腺外来 アレルギー、リウマチ科 泌尿器科 乳腺外来
午 後		整形外科	呼吸器科 循環器科	整形外科 神経科	糖尿病・甲状腺外来 アレルギー、リウマチ科 整形外科 乳腺外来
夜 間			呼吸器科	神経科	

\*木曜日の神経科は午後と夜間が隔週で変わります。

\*土曜日の乳腺外来は第1、3週のみとなります。

\*金曜日の神経内科は月2回の診療となります。

社会環境の様変わりと患者さんのニーズの多様化の中で、私達事務として効率よい医療を提供していくとはどういうことか

三。常に討議的となるのは

「待ち時間短縮」「さわやかな対応」の二点です。繁雑化していく余裕のないままの業務内容では患者さんによいサービス(待ち時間短縮・よい対応)を提供することは出来ません。今回、新館増設・改築計画が事務業務改革の大きなきっかけとなり、レセプトの合理化・効率のよい人員配置・会計伝票導入・電動カルテ庫設置・新医事コンピューター導入・再来受付機導入と取り組み、今年一月新館オープンと同時に実施となりました。まだ稼働開始したばかりで、さまざまなお問い合わせ問題点は山積みです。今後も私達にとっての便利さは確保されていくのかなど、いろいろな問題点は山積みで、そして何よりも患者さんにとっての「早くくて良い」医療を目指し、事務をひとつの立場からひとづづ問題を取り上げ、



ホテルを思わせる待合ホール

## 透析室

病棟への通路、搬出入経路の一新により業務が簡素化

本院改修工事により透析室の機械室外階段、エレベーター、患者さん通路・待合室が一新されました。これにより入院患者さんの病棟へのベッド移動、また物品の搬出入がスムーズになりました。具体的には今まで病棟間の通路は一本でしたが二通りになりました。エレベーターの運搬能力は数倍で、しかも外付けドア採用により直接外部から運搬

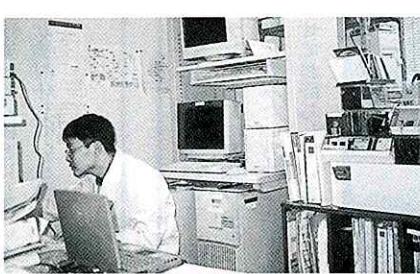
が可能となるなど、より働きやすい環境が整備されました。

二月開院した坂田クリニックと本更津市高柳の玄々堂本更津クリニックでは社会復帰された透析患者さんの外来透析を担っているのに對し、本院透析室では入院患者さんが主な対象となります。透析導入後日常生活が安定し、社会復帰されると通院に便利なクリニックで外来透析となります。検査や手術のため入院された患者さんも対象となります。最近は高齢化の対象となります。最近は高齢化の要となっています。また慢性透析の患者さんはばかりでなく、血



当院のひとつの顔となっている透析室

液交換や血液吸着などの特殊血液浄化をも担っているのが、本院の特徴となっています。



システムを有効利用するために日々研鑽

## 医事課

早くさわやかな対応をモットーに

## 電算室

スタッフ一丸となって真摯に取り組み、私達の領域から広汎な討議を起こしていきたいと思つています。

### LANインフラの整備により効率よい医療を

電子メールを使った電子連絡網も整備されました。十年前には、専門家でさえ予想できなかつたことが実現していることになります。

しかし病院としてのLANインフラが整備された一方、今後は「もと何に活用するか」というコンテンツ(内容)もしくはソフトウェアが整備された一方、今後は「も

うにあります。便利で効率的なものほど「それがもし停止してしまつたら…」という危惧を

はらんでいます。便利で効率的で多機能で合理的、といった蓄

薇色の世界からは一步引いて、身を引き締めて、システムを現

にあたりたいと思ひます。

院の増改築によって、私達外来の医事課と同じフロアで仕事をするようになりました。その為に外来の医事課と近くな

り、お互いの連携がよくなつた

と思います。入院に関する問い合わせに素早く対応できたり、退院した患者さんのカルテを探すのも、協力しやすくなつてい

ます。

今までほとんど地下に保管

していた入院カルテも、約半年

分が一階フロアに保管できるようになります。

今までも前日に用意しておきたかったのですが、三階から一階、地下は遠く、実行できないでいました。

入院の受付が、座ったままのオーブンカウンターになりました。明るく、静かな空間になつていますので、患者さんと落ちついで応対できるようになります。

引越して約半年経ち、一階の雰囲気にも大分慣れました。各病棟とは遠くなつてしましましたが、業務ができるよう努力していきたい



患者さん案内の中央オープンカウンター



広くきれいになった内視鏡室

設備が整った救急治療室

社会環境の様変わりと患者さんのニーズの多様化の中で、私達事務として効率よい医療を提供していくとはどういうことか

三。常に討議的となるのは

「待ち時間短縮」「さわやかな対応」の二点です。繁雑化していく余裕のないままの業務内容では患者さんによいサービス(待ち時間短縮・よい対応)を提供することは出来ません。今回、新館増設・改築計画が事務業務改革の大きなきっかけとなり、レセプトの合理化・効率のよい人員配置・会計伝票導入・電動カルテ庫設置・新医事コンピューター導入・再来受付機導入と取り組み、今年一月新館オープンと同時に実施となりました。まだ稼働開始したばかりで、さまざまなお問い合わせ問題点は山積みです。今後も私達にとっての便利さは確保されていくのかなど、いろいろな問題点は山積みです。今後も私たちの立場からひとづづ問題を取り上げ、



ホテルを思わせる待合ホール

社会環境の様変わりと患者さんのニーズの多様化の中で、私達事務として効率よい医療を提供していくとはどういうことか

三。常に討議的となるのは

「待ち時間短縮」「さわやかな対応」の二点です。繁雑化していく余裕のないままの業務内容では患者さんによいサービス(待ち時間短縮・よい対応)を提供することは出来ません。今回、新館増設・改築計画が事務業務改革の大きなきっかけとなり、レセプトの合理化・効率のよい人員配置・会計伝票導入・電動カルテ庫設置・新医事コンピューター導入・再来受付機導入と取り組み、今年一月新館オープンと同時に実施となりました。まだ稼働開始したばかりで、さまざまなお問い合わせ問題点は山積みです。今後も私達にとっての便利さは確保されていくのかなど、いろいろな問題点は山積みです。今後も私たちの立場からひとづづ問題を取り上げ、



当院のひとつの顔となっている透析室

# 病院案内図

**玄々堂の由来**

玄々堂の医術は、森玄孝より伝えられました。森玄孝は豊臣秀吉、秀頼の御典医森宗長の次男にあたり、文禄慶長の役（五九二年、一五九六年）の際、明に渡り医術を修めましたが、帰国後キリスト教徒の嫌疑を受け南総小糸郷に謫居の身となりました。この時に玄孝は鈴木家の庇護を受け、その医術を鈴木

家の祖に伝えたのです。  
鈴木家の家号を「玄々堂」と言います。「玄」とは絶対者の意味があり、「玄の又玄」とは道の広大無辺なる様子を表しています。鈴木家は以後、代々医業を業として近村遠郷に施療していました。君津市病院として「玄々堂」の名は継承されております。



\*謫居  
官吏が罪を問われて遠くに流されること。当時キリスト弾圧が行われていた。  
君津市文化協会  
郷土研究史「かみつ」  
昭和六十二年十一月発行より



1F

## 玄々堂君津病院史

- 1972年2月 玄々堂坂田診療所設立（無床）  
40坪のプレハブ仮設診療所
- 1974年4月 玄々堂君津病院設立（43床）  
鉄筋コンクリート造3階建
- 1974年12月 医療法人社団として認可  
(新都市医療研究会君津会)
- 1981年12月 増床（72床） 4階建増層
- 1983年3月 特定医療法人社団として認可
- 1985年9月 増床（128床） 増築改修
- 1998年6月 増床（198床） 増築改修



2F

## 関連施設

- 1992年9月 君津訪問看護ステーション設立
- 1993年9月 玄々堂木更津クリニック設立 同時透析51台
- 1998年2月 坂田クリニック設立 同時透析43台



3F



BF



4F



